

平成24年度 一般農道整備事業 再評価調書

事業名	一般農道整備事業	地区名	いさわちゅうおう 伊沢中央 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	阿波市
事業概要	(事業目的) 本地区は阿波市西部（旧阿波町）に位置し、伊沢谷川に隣接し南北に伸びる農道整備事業であり、北側を広域農道阿讃山麓地区から、南側を県道鳴門池田線に接続する計画である。 本地区内は、農道の幅員が狭く農作物の搬出等に支障をきたしている。 このため、本農道の整備により農産物流通の合理化と輸送労力の節減を図ることを目的とするとともに、農村地域の生活道路としての役割を担うことにより、生活環境の改善に資するものである。 (事業内容) 受益面積 188ha 受益戸数 158戸 主要工事 農道工1, 480m 全幅員5.0m(車道幅員4.0m) 総事業費 515,400千円(国50%：県25%：市25%：地元農家0%) 工 期 平成10年度～平成29年度		
	(事業の進捗状況) 前回、平成18年度末までに路床工440mを実施していた。平成23年度末には路床工807.8mを実施している。また、路床工実施区間において舗装工290mを実施している。 路床工延長での進捗率は平成18年度末までで29.7%、平成23年度末までで54.6%である。 平成24年度末までの事業費ベースの進捗率は60.3%である。		
評価	(関連事業の進捗状況) 県営広域農道整備事業 阿讃山麓地区 100%		
	(社会経済情勢の変化) 本地域は、農業従事者の高齢化も伴い、稲作転換による野菜等の運搬に支障が生じている。基幹農道の整備により運搬に伴う労力の節減と農業交通の走行経費節減や荷傷み防止等の効果が期待されるとともに、地域の生活環境の改善を図る本事業に対する地元の期待は大きい。		
項目	(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。		
目	(事業効果の発現状況) 工事が完成した区間は、高速道路を横断し、広域農道 阿讃山麓地区に接続しており、次の効果が発生している。 1 農産物の市場等への輸送時間が短縮され、効率的な農業が展開されている。 2 農協等への往復時間が短縮され、各種生産資材の搬出搬入が容易となっている。 3 投資効率＝総事業効果額／総事業費＝1.24		
	(受益農家、関係機関の意向) 地域の道路網としては、東西方向の幹線道路は過去より整備されているが、それぞれを南北方向に結ぶ幹線道路が整備されておらず、当路線はこれらを南北方向に結ぶ幹線道路としての機能を期待できることから、関係市、地元受益農家からは、早期完成を強く要望されている。 (事業の実施方針) 計画断面を見直し、用地の買収幅の縮小と事業費を縮減することにより平成28年度までに完成させ、既設町道に接続することにより事業の効果発現を目指す。		